



会 長 岡島達雄
 副会長 中武泰一郎
 幹 事 武末喜久治
 例会日 毎週木曜日 12:30～
 例会場 ホテル泉屋 2F
 事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4
 ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第1674回 平成22年12月9日プログラム

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX 披露 |
| 2. ロータリーソング
四つのテスト | 8. 各委員会報告 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 9. クラブ協議会 |
| 4. 会長の時間 | 10. 次週例会案内 |
| 5. 幹事報告 | 11. 点 鐘 |
| 6. 出席報告 | |

血圧測定 年次総会
 クラブ協議会（半期報告）
 例会終了後プログラム委員会

2730地区ガバナー 伊藤 学而
 中部分区ガバナー補佐 岩切 昇

2730地区テーマ

クラブを活性化し、地域と時代の要請に応えよう

高鍋ロータリークラブテーマ

品位のある楽しいクラブを実現し、社会の要求にこたえよう

12月の月間テーマ

家族月間

次週例会案内； 12月16日（木）1675回例会
 ・クラブ協議会（半期報告）
 ・100万ドルBOX

第1673回 例会内容

■会長の時間

会長 岡島達雄君



理事会

先週は友好クラブである米沢上杉ロータリークラブ会員を例会などにお迎えして、意義ある時間が共有できた。11月28日には、第4回高鍋ロータリーカップミニラグビー大会が開催された。行事の実現にご協力いただいた会員諸氏に感謝申し上げる。

さてロータリーの理事会はクラブ運営において、最高の自主管理権を持っている。具体的には理事会が全ての議案に対する先議権を持ち、クラブ事項に関する理事会の決定が最終決定となる。

この考え方の基本は、ロータリーが誕生して4年後の1909年に生まれた。

シカゴロータリークラブで二人の会員が木造建築とレンガ建築の優劣について議論を始め、例会では木造の方に旗が揚げた。それが新聞に報道されたため、レンガ業者の猛反対を受けることとなった。そこでロータリーでは、いろんな討議をする場合に、まず理事会が先議して、その後に総会に活かすことを決めた。

木造建築については利点も多いが欠点も多い。中でも燃える、という欠点の克服は難しい。わが国では、明治以降、建築・都市の不燃化がテーマとなりレンガ造が推奨され、レンガ建築街さえるようになった。

ところが関東大地震でレンガ造が壊滅的な被害を受けたため、わが国ではごく小規模なものを除いてレンガ造建築は許されなくなった。石造、無筋コンクリートブロック造も同様である。今日レンガ造、石造と見える建築物の構造本体は鉄筋コンクリートなどの耐震建築物であり、レンガや石材はその外装仕上げ材ということになる。

ところでレンガ造や石造など、一定の形状・寸法の物体を横や縦に積んでできる構造物を建築基準法では組積造、という。英語ではメイソンリー（masonry）という。またその技術を持つ石工やレンガ職人、技術者をメイソン（mason）という。このメイソンの組合から発したとされるフリーメイソンと世界の奉仕団体については別の機会に述べたい。

■幹事報告

幹事 武末喜久治君

- *ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ
- *GSE ドイツチームリーダーよりお礼状
- *第2回ロータリー情報委員長会議の開催について



日時 平成23年1月28日（金）13:30～16:30
 場所 宮崎市民プラザ 4階中会議室

◆出席報告

出席状況

会 員 数	40名
出席会員数	32名
ホーム出席率	84.21%
前々回の修正出席率	89.47%

◆BOX披露 <ニコニコ・財団・米山BOX>

武末喜久治君 誕生日祝いのお返し。

岩下盛朗君 誕生日祝いのお礼。

木村貞夫君 米沢上杉ロータリークラブの古山さんと
斉藤さんと楽しく高千穂観光をさせていただきました。
感謝！

岩切洋君 すみません。何かの間違いで先日のゴルフ
コンペ優勝させていただきました。ありがとうございました。

石田喜克君 第4回高鍋ロータリーカップ・ミニラグ
ビー大会が事故もなくロータリアン多数参加の中、
無事終了しました。本当にご支援ありがとうございました。

■親睦月間卓話 親睦委員長 橋口清和君

ロータリーの二本柱として、親睦と奉仕があげられます。親睦と奉仕はロータリークラブ運営の両輪として欠かすことの出来ない歯車です。親睦はロータリー運動そのものではなく、ロータリーという植物が、根を張り、生長するためにどうしても必要な、最上の土壌なのです。親睦とはロータリーの思想が形成され、成長する過程において導き出された概念であって、奉仕の心を作り出すための例会における諸活動のことを指すといわれています。永続性のある適切な利潤を、獲得するために到達した経営哲学者が、「良質の職業人とは、自己改善を重ねて、自分の職場を健全に守るとともに、取引先、下請業者、従業員、顧客、同業者など、自分の事業と関係を持つ全ての人と幸せを分かち合うことである。そして、その心でもって事業を営めば、必ず最高の利益が得られることを自分の職場で実証することによって、奉仕の精神の必要性を地域全体の職業人に伝えていく職業奉仕の理論であり、その理論を研究し、お互いの職業情報を持ち寄って具体策を検証するのが例会の場である」と説いています。

■卓話リレー 鍋倉春代君

入会させて頂いて6年間ずっと親睦委員です。
たいしたこともできず6年過ぎてしまいました。できましたらもう一人位女性会員を入会させていただきたいと思います。

■卓話リレー 宮元武次君

ロータリーに入会して4年目になりますが、親睦委員会で決定される催し物で、コーラスがあったり和太鼓があったりで私の環境の中でないものを多く見聞きできるのが非常に楽しみです。

■卓話リレー 田中晴敏君

親睦委員会からフェローシップ委員会に変わって昔を振り返ってみると、島子 PP がよく言われるように「思いやりの心」が最近薄くなってきている感がある。親睦に必要な事は、「目配り、気配り、心配り」であると思われます。

■卓話リレー 石井秀隣君

我々が一般的に着用している背広は、元々作業着から進化したものです。その名残りとして、現在袖口にボタンがついています。襟に我々がロータリーバッヂをつけたりする飾り穴があります。これは、共に袖口をしぼったり、襟を合わせたりしたものの名残りです。

流行は例えば男性のズボンの場合、足を2本入ることの変更はできませんので、幅を広くするか狭くするか2通りしかありません。それを交互に繰り返しているだけです。

■卓話リレーでの一言 尾崎敏弘君

当クラブは、長期計画のなかで「なかよし五よしクラブ（会員よし、家族よし、会社よし、地域よし、世界よし）」でありたいとしている。これを実践することがクラブの発展につながる。

昨夜は、3年前2007～2008に中部分区の会長、幹事をしたOB13名が蚊口の「たかしま」に集まりカキなべをつつき、冬季限定の焼酎（きろく）を酌み交わし各自が所属クラブの自慢話などをしながら浜でのひと時を過ごしてもらった。仕上げは、11月30日付の宮日新聞に紹介されていたチーズソムリエのいるワインバーに行きたいという声があり、そこで再度のロータリー論議となったが夜も更けてきたので、次回西都での再会を約束して解散した。

限定されたメンバーではあるが、他クラブとの親睦も楽しいものである。五よしのどれに当てはまるのかな。

■卓話リレー「何となく人恋しい年代」 岩村文夫君

1. 人と人との不思議な縁

今私を指名された藤本先生は、実は縁もある。私の姉が晴れの姉さんと友人で、私が小学2～3年生位の時に姉について美々津にあった彼の家に一泊で訪ねて行ったのです。

2. エルザ4人組について

木曜日の例会の終了後、河野さん、佐々木さんと私はいそいそと帰っていきます。行先は喫茶店エルザです。気づいておられる方も多数あると思われます。事の発端は、私が会長を終了した時にあります。河野さんが「お疲れでした。一献差し上げよう」と言われたのです。それが今のエルザの例会につながるのです。最初は天婦羅の「江戸っ子」です。その時、例会の後でコーヒータ임을しましようということになりました。今では、例会の終了5分前になると、コーヒータ임을楽しもうと、ソワソワしてしまう有様です。こんな会も、実は例会あつてのことなのです。「例会でちょっと緊張して後を楽しみましょう」という寸法です。皆さんも如何ですか。忘れてならないのは、4人組の1人が野崎さんだということです。今でもロータリーの基本を教えてください。

◆月初めのセレモニー ♥お誕生日おめでとう♥

